

「OECD国際共同研究プログラム」について

1. 事業の概要

OECD（経済協力開発機構）では加盟国間の農林水産研究交流の促進を目的とした「国際共同研究プログラム(CRP)」を1979年から実施しており、我が国も1990年から分担金を拠出して参加しています（現在 OECD 加盟国のうち26ヶ国が参加）。

本プログラムでは、プログラム参加国での短期在外研究（以下「フェローシップ」という。）や国際会議／ワークショップ／シンポジウム等（以下「カンファレンス」という。）の開催への支援を行っており、応募・採択後は、フェローシップに要する旅費・滞在費、カンファレンス開催資金の一部（講演者の招へい費等）が支給されます。

2021年に公募を実施する案件の研究テーマは次の3つとなっています。フェローシップ及びカンファレンスの応募者は、下記3テーマの中から該当する1つを選んで応募することとなります。

テーマ1：Managing Natural Capital

テーマ2：Strengthening Resilience in the face of Multiple Risks in a Connected World

テーマ3：Transformational Technologies and Innovation

(参考) プログラム参加国 (26ヶ国)

オーストラリア、オーストリア、ベルギー、カナダ、チリ、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ハンガリー、アイルランド、イタリア、日本、大韓民国、ラトビア、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、スロバキア、スペイン、スウェーデン、スイス、英国、アメリカ合衆国

2. これまでの実績

(1) フェローシップ

全体の応募者数及び採択者数（直近6年間）

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
応募者数	62人	60人	54人	53人	54人	35人
採択者数	28人	30人	21人	20人	19人	18人
採択率	45%	50%	39%	38%	35%	51%

(2) カンファレンス

全体の応募数及び採択数（直近6年間）

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
応募数	26件	22件	24件	16件	20件	12件
採択数	8件	8件	10件	10件	8件	8件
採択率	31%	36%	42%	63%	40%	67%

日本開催のカンファレンス（2011年～）

- International Symposium on Frontier in Agriculture Proteome Research: contribution of proteome technology in agricultural science（2011年11月：（独）作物研究所）
- Plant and Microbe Adaptations to the Cold (PMAC) 2012: Toward risk assessment and management of sustainable agriculture in the cool and cold regions（2012年6月：（独）北海道農業研究センター）
- 12th International Wheat Genetics Symposium（2013年9月：横浜市立大学）
- Sustainable Management including the use of Traditional Knowledge in Satoyama and Other SELPs（2014年4月：金沢大学）
- Updated Diagnosis and Epidemiology of Animal Prion Diseases for Food Safety and Security（2016年5月：（国研）農研機構 動物衛生研究所）
- Global Goals - new approaches to knowledge generation: challenges and solutions from local to global scales（2017年8月：東京大学（スウェーデンで開催））
- International symposium on food credence attributes: How can we design policies to meet consumer demand?（2017年5月：大阪大学、青山学院大学）

3. 支援内容

(1) フェローシップ

ア 派遣期間：6～26週

イ 派遣時期：2022年3月1日から12月15日までに出発すること（事務手続きは11月1日までに終了させること）

ウ 資格：博士号取得者又は相当の専門知識をもつ者で、原則として研究機関・大学等に常勤として所属する者（年齢制限無し）。

エ 支給経費：●往復旅費（居住地から受入研究機関までの1往復分の旅費（エコノミー航空券（APEX等）に基づいて算出）
●滞在費（宿泊費・食費・通勤費として600ユーロ又は650ユーロ相当/週、都市により異なる）
●荷役料金（165ユーロ）
●ベンチフィー（研究機材・施設の使用料など）は支給されない（生命保険や健康保険、通勤にかかる費用、家族の旅費、パスポートやビザ取得にかかる費用等も支給されない）

オ 派遣先：プログラム参加国にある任意の研究機関。応募申請を行う前に事前に受入先機関に各自で申し込みを行い、相手方の受入れ意思を示す招へい状を入手する必要がある。

(2) カンファレンス

ア 支援対象：2022 年中に開催する、単独の会議やワークショップ、あるいは大規模な会合内の一部のセッションであって、対面のみならずオンライン形式で行われるものも含む。

イ 支給経費：●対面又はオンラインとのハイブリッド形式の場合：

招へいする講演者の交通費、宿泊費、参加費（OECD の規程に基づいて算出、ただし本プログラム参加国の国籍を有している者又は参加国に居住している者のみ対象）

オンラインイベントのみの場合：

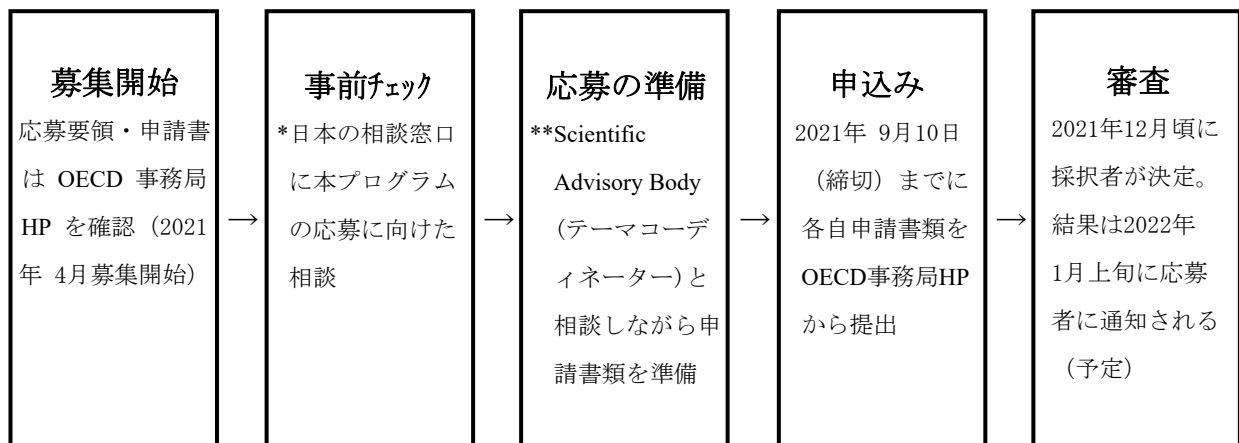
これを主催する費用

●プロシーディングス発行の分担金（3,050 ユーロ、プロシーディングスはOECD 事務局へ 60 部と各講演者に 1 部ずつ送付する必要がある）

●会場レンタル費、会食費などは支給されない

ウ その他：カンファレンスには **Scientific Advisory Body（テーマコーディネーター）等が参加し、議事次第の中で本プログラムを紹介する機会を設けることが求められる。

4. 応募の手順



【オンライン申請及び募集要項】

OECD CRP事務局ホームページアドレス

<http://www.oecd.org/agriculture/crp/applications/>

*日本の相談窓口

申請書の作成にあたっての留意点や、採択のポイントなどのアドバイスを行う。
申請に当たっては相談することが望ましい。

(主にフェローシップ)

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
本部 企画戦略本部 研究統括部 国際課長 安河内 祐二
住所 〒305-8517 つくば市観音台 3-1-1
電話 029-838-6747
メールアドレス yaskoch@affrc.go.jp

(主にカンファレンス)

国立研究開発法人 水産研究・教育機構
理事長 中山 一郎
住所 〒221-8529 神奈川県横浜市神奈川区新浦島町 1-1-25
テクノウェイブ100 6階
電話 045-277-0021
メールアドレス nakayama@affrc.go.jp

****Scientific Advisory Body (テーマコーディネーター)**

OECD に任命された研究者であり、申請書の確認やプログラム準備の支援等を行う。3つのテーマ毎にコーディネーターがいる（以下）。申請書の提出前に相談する事が強く推奨されている。

Theme 1 Managing Natural Capital

Dr. Ichiro NAKAYAMA

President

The National Research and Development Agency,
Japan Fisheries Research and Education Agency, Japan

E-mail: nakayama@affrc.go.jp Tel: +81 (0)45-277-0021

Dr. Maria Joao SANTOS

Assistant Professor of Earth System Science

Department of Geography, University of Zürich, Switzerland

E-mail: maria.j.santos@geo.uzh.ch Tel: +41 44 635 52 64

Theme 2 Strengthening Resilience in the face of Multiple Risks in a Connected World

Dr. András SZÉKÁCS

Research Institute of Agro-Environmental Sciences

National Agricultural Research and Innovation Centre, Hungary

E-mail: aszekacs@edu.bme.hu Tel: +36 1 355 8991

Prof. Max SUCKLING

Formerly of Plant & Food Research, New Zealand

E-mail: max.suckling@gmail.com Tel: +64 3 977 7344

Theme 3 Transformational Technologies and Innovation

Dr. Rafael BLASCO

INIA - Department of Biotechnology, Ministry of Science, Innovation and Universities, Spain

E-mail: blasco@inia.es Tel: +34 91 347 39 13

Dr. Lieve HERMAN

Unit Head - Technology and Food Science

ILVO - Flanders Research Institute for Agriculture, Fisheries and Food, Belgium

E-mail: lieve.herman@ilvo.vlaanderen.be Tel: +32 9 272 3010